

反射材付き高齢者交通事故防止啓発チラシを9千枚寄贈

～「反射材普及強化旬間」を中心に、所轄警察署を通じて幅広く配布～

日本損害保険協会関東支部神奈川損保会（会長：石井 徹・三井住友海上火災保険株式会社神奈川支店長）では、神奈川県において、今年になって交通事故死者数が急増（本年9月末時点で、前年同期比17人（21.8%）増の95人：全国ワースト2）しており、このうち、65歳以上の高齢者が、前年同期比11人（42.1%）増の40人と多くの割合を占めることに鑑み、神奈川県警からの協力要請を踏まえ、同交通部に対し、反射材付き高齢者交通事故防止啓発チラシ（A4判・両面カラー）9,000枚を寄贈することとし、11月5日（水）午後3時から同県警本部交通部長室において、贈呈式を開催いたしました。

同チラシは、A4判両面カラーで、高齢ドライバーの出会い頭事故の防止策として、「徐行」や「安全確認」、高齢歩行者の夕暮れや夜間には「安全確認」と反射材の着用を呼びかけています。

贈呈式では、神奈川損保会の石井会長から、同交通部の柴崎理事官兼交通総務課長に同チラシと反射材のサンプルが手渡され、石井会長から「日の入りの時間が早くなってきたこの時期に、反射材を活用していくことで、高齢者の交通事故の防止にお役立ていただきたくお贈りさせていただいた。ぜひ様々な場所でご活用いただけることを願っております。」との寄贈の言葉が述べられ、記念撮影の後、同室で懇談が行われました。

贈呈された反射材付きチラシは、管内の所轄54警察署に配布され、11月15日（土）から11月24日（月）までの間に設定される「反射材普及強化旬間」を中心に、高齢者宅への訪問や街頭啓発活動などの集中的な反射材の普及・啓発を実施するなどして、県民の方々に幅広く配布・提供されています。

神奈川損保会では、引き続き、県警や県、関係団体と協力関係を深めながら、高齢者をはじめとした交通事故防止の啓発に取り組んでまいります。



記念撮影

（左：柴崎交通総務課長、右：石井損保会長）



懇談の様子